

A ほどけた結び目

基礎～標準 1 | 解答・解説

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。別解・許容は使える表現や内容の例です。完成答案は指定字数・条件を満たしてください。

問1 人物と状況

答え：イ

解説 ①の去年の失敗の回想と、糸巻きを自分の胸に寄せる動作が根拠。花に任せたくない気持ちが表れている。

問2 行動の読み取り

答え：ウ

解説 ②では自信のある言葉のすぐあとにたこが落ちる。失敗を見られ、妹と顔を合わせにくい様子を読む。花が壊したわけではない。

問3 指示内容 解答例 26字

解答例：たこの紙を破らないよう、厚紙の角を丁寧に折る手つき。

解説 ④の花の動作と、悠斗自身が家でしたことを結び付ける。

別解・許容 「紙を傷めないように注意する手つき」なども可。

採点の目安 紙を破らないよう丁寧に扱う配慮を書けば正答。厚紙の角を折る動作は具体化であり、必須ではない。

問4 会話の変化

答え：ア

解説 ①では糸巻きを渡さないが、⑤では悠斗から「持ってくれる」と頼む。相手への接し方の変化を比べる。

A ほどけた結び目

基礎～標準 1 | 解答・解説 | つづき

問5 根拠の抜き出し 18字

答え：花は人形の台にしていた厚紙を外した。

解説 ③では祖母に見せる人形の台を外し、たこの修理に使おうとしている。一文なので句点まで含める。

問6 表現の効果

答え：エ

解説 ⑥の直前には二人の手を重ねる動作がある。同じ震えを感じる描写が、協力して楽しむ様子を具体的に伝える。

問7 心情と理由 解答例 39字

解答例：花も紙を傷めないよう丁寧に扱っていると気づき、修理を任せてみようと思ったから。

解説 ④の角を丸く折る動作は、悠斗が自分でもしていた配慮と同じ。花を拒もうとした判断を変えるきっかけになった。

別解・許容 「花の丁寧な手つきに気づき、一緒に直そうと思ったから」なども、字数内なら可。

採点の目安 自分と同じように紙を大切に扱う花への気づきを書けば正答。協力を受け入れる結果まで明記しなくてもよい。

問8 心情の変化 解答例 57字

解答例：花に任せると失敗すると思っていたが、紙を丁寧に扱う姿を見て、力を合わせてたこを上げられる相手だと思うようになった。

解説 ①の去年の回想、④の手つき、⑤・⑥の協力する行動をつなぐ。単に「嫌いから好きになった」とするのは広げすぎ。

別解・許容 「頼れないと思っていた花を、気遣いや工夫のできる相手として見直した」なども可。

採点の目安 初めの不信、花の丁寧な修理というきっかけ、信頼して協力する変化を含める。

B 幕の向こう

基礎～標準 2 | 解答・解説

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。

問1 言動の食い違い

答え：ア

解説 ①の笑ってうなづく態度と、帰宅後にせりふの紙を押し込む行動の食い違いを読む。主役になれなかった落胆がうかがえる。

問2 事実と推測

答え：エ

解説 ②には里奈に合図が出たように見えたとある。意図的に幕を早く下ろしたとも、一年生が里奈を困らせようとしたとも書かれていない。

問3 人物の行動 解答例 34字

解答例：里奈のいる暗い舞台袖からは、合図の手が見えにくいことに気付いたから。

解説 ③の紗季の「ここからだ」という言葉と、半歩位置をずらす行動が根拠。

別解・許容 「里奈の位置では紗季の手が見えづらい」と書けていれば「暗い」は必須ではない。

採点の目安 里奈の位置から合図が見えにくいという、位置と見え方の関係を含める。

問4 細部の読み取り

答え：イ

解説 ③の「責める言葉を待っていた」が根拠。ほつれをつまむ動作だけでは気持ちは決まらないが、前後と合わせると緊張や気まずさが読める。

解き直しメモ 不足した内容と、本文の根拠を確かめよう。

B 幕の向こう

基礎～標準 2 | 解答・解説 | つづき

問5 間の効果

答え：ウ

解説④では声の終わりを聞き、紗季の肩と手の動きを確かめている。長い間と動かない指を重ね、演技に合わせて待つ緊張を伝えている。

問6 呼応する表現 解答例 37字

解答例：演じる紗季も幕を動かす里奈も緊張しており、舞台を終えて共にほっとしたこと。

解説⑤では幕が下り、拍手が始まる。その時に二人が息を吐くので、異なる役割で同じ場面に集中していたことと安堵が伝わる。

別解・許容 「舞台の進行を共に支え、終わりに緊張がほどけた」なども可。

採点の目安 二人に共通する緊張と、無事に場面を終えた安堵を含める。里奈だけの感情にしない。

問7 象徴的な動作 解答例 42字

解答例：自分の出番を嘆くだけでなく、演技に合う幕の下ろし方を考え、役に真剣に取り組んでいる。

解説⑥の丸はせりふの場所ではなく、幕を下ろす前に待つ場所にある。与えられた役の工夫を考えた跡として読める。

別解・許容 「せりふがなくても、自分の役の大事な瞬間を確かめている」なども可。

採点の目安 幕を動かす役に即して、待つタイミングを自ら考える姿勢を説明する。

問8 展開と心情 解答例 59字

解答例：主役になれず不満を抱いていたが、紗季が合図を工夫してくれたことで、演技に合わせて自分の役を果たそうとするようになった。

解説①の落胆から、③の紗季の配慮、④・⑥の自分なりの工夫という流れを捉える。

別解・許容 「一緒に劇を作る相手として関わる」「幕の役に主体的に取り組む」なども可。

採点の目安 初めの落胆、紗季が里奈の位置を考えた工夫、里奈が演技と呼吸を合わせる変化を含める。

C 坂の途中

発展・応用 | 解答・解説

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。

問1 語りの視点

答え：ウ

解説 一人称の「僕」が語る。健太の言葉や動作は示されるが、健太の心の中を語り手が直接説明するわけではない。

問2 語句の解釈 解答例 32字

解答例：健太が引っ越すと明日から一人で通ることになり、寂しく感じたから。

解説 ①の直前の「明日からは一人で通る坂だ」と結び付ける。物理的に坂が伸びたわけではない。
別解・許容 「友人との別れが近い重苦しさ」「一人で歩くことへの心細さ」なども可。
採点の目安 健太の転居によって一人で通ることと、そこから生まれる寂しさ・心細さなどを結ぶ。

問3 会話の含意

答え：イ

解説 引っ越し前日という状況、冬の夕日を知っていること、絵を丁寧に描き直す行動から、見慣れた景色を残したい思いが読める。

問4 場面の転換

答え：ア

解説 ③では平凡だと思った景色が、④では見る位置を変えることで海に見える景色になる。健太が大切にしているものを「僕」も知る転換点。

解き直しメモ 不足した内容と、本文の根拠を確かめよう。

C 坂の途中

発展・応用 | 解答・解説 | つづき

問5 同じ言葉の違い 解答例 51字

解答例：初めは話に関心がないように受け取ったが、後では景色を見られなくなる思いを含む返事として受け止めている。

解説 ①・②の「僕」は不満げに先へ歩く。⑤では立ち上がりず健太を待つ。同じ短い返事を受けた行動の違いも根拠になる。

別解・許容 後半は「景色への愛着を共有する返事」なども可。泣いていた、引っ越しをやめたいなどの断定は不要。

採点の目安 初めのそっけなさという受け取りと、後の景色への思いを理解した受け取りを対比する。

問6 根拠の限界

答え：エ

解説 健太は見慣れた景色を描き残し、描き直している。ただし、沈黙の中の気持ちを直接語る文はない。アは丁寧に見て描く行動、イ・ウは本文の状況と合わない。

問7 結末の働き 解答例 46字

解答例：健太の行動を理解せず先に歩いていたが、大切にすることを共有し、離れてもつながろうとしている。

解説 ②の先に歩く行動と、⑥の写真を送る考えを比べる。相手が大切にすることを自分も見つめ、今後の交流へつなげている。

別解・許容 「健太の思いを大切に写真を届けようとする」なども可。

採点の目安 初めの理解不足・すれ違いと、相手の大切な景色を共有し続けたいという変化を含める。

問8 描写と主題 解答例 64字

解答例：一人で通う寂しさを感じる道だったが、健太と同じ位置から海を見たことで、友人の思いを重ね、離れてもつながれる景色のある道になった。

解説 ①の長さには別れへの寂しさが重なる。④の体験を経て、⑥では見慣れた道が、健太に届けたい景色のある道へ変わる。

別解・許容 「平凡だと思った道が、友人の大切な景色を見つけられる道に変わった」なども、初め・きっかけ・終わりが分かれば可。

採点の目安 坂そのものの距離の変化ではなく、「僕」の意味付けの変化を説明する。

D 折り返し

定期テスト対策 | 解答・解説 | 100点満点

記述は、解答例と表現が違ってても、必要な内容と問いの条件を満たせば正答です。問6～8は内容点の合計から、字数範囲外なら1点を引きます。各問の下限は0点です。

問1 状況の把握〔10点〕

答え：イ

解説 ③と⑤に、拓海が昨日の古い目印を見ていたと示される。失敗の原因を直樹だけに求めた初めの判断が揺らぐ。

問2 表現の意味〔10点〕

答え：エ

解説 ①で直樹を責めた言葉を、誤りに気付いた④で思い返している。実際に外から声が聞こえた描写ではない。

問3 行動と心情〔10点〕

答え：ア

解説 自分の誤りを知ったあと、バトンを回し、声をかけられずにいる。⑤の謝罪につながるため、後ろめたさやためらいが読める。

問4 人物理解〔10点〕

答え：ウ

解説 直樹はすぐに返事をしないが、古い線を消し、新しい線を濃くしようと提案する。協力して直す意思が行動と言葉に表れる。

問5 根拠の抜き出し〔10点〕 13字

答え：さっき、言い方も……ごめん

解説 目印の誤りを認める言葉のあとに、言い方も謝っている。会話の中身だけを抜き出し、かぎっこは付けない。

採点の目安 指定どおり13字で10点。かぎかっこの付加など表記だけの違いは9点。謝罪の内容は合うが範囲に過不足がある場合は5点。

D 折り返し

定期テスト対策 | 解答・解説 | 100点満点 | つづき

問6 情景描写〔15点〕 解答例 50字

解答例：初めの影は失敗後の気まずさを深め、最後の明るさは、二人がまだ一緒に練習を続けられる希望を感じさせる。

解説 ①は責める言葉と沈黙、⑥は同じ目印に戻る行動に続く。情景を感情の記号に固定せず、前後の人物の様子と結び付ける。

別解・許容 初めは「時間が残り少ない切迫感」「沈んだ雰囲気」、終わりは「続ける余地」「前向きさ」なども可。

採点の目安 初めの影を場面に即して説明7点、最後の明るさを練習の継続や前向きさに結ぶ8点。共通の字数基準を適用。

問7 結末の工夫〔15点〕 解答例 48字

解答例：成功という結果よりも、失敗を相手のせいにせず、二人で原因を考え直す関係になったことを際立たせる。

解説 ⑥では技術的には課題が残るが、二人が同じ線に戻り、相談する。描かれているのは技術的な成否だけではなく、互いへの向き合い方の変化だと伝わる。

別解・許容 「完全な成功でなくても、二人で改善する姿勢が生まれたことを示す」なども可。

採点の目安 受け渡しの課題が残ること、または成功という結果との対比5点。二人で原因を考え直す関係・姿勢の変化10点。共通の字数基準を適用。

問8 心情と態度の変化〔20点〕 解答例 64字

解答例：失敗を直樹のせいにしていたが、自分が古い目印を見ていたと気づき、言い方も謝り、相手と相談して受け渡しを直そうとするようになった。

解説 ①の非難、③の自分の誤りへの気づき、⑤の謝罪、⑥の相談という変化をまとめる。単に「仲良くなった」では変化の内容が足りない。

別解・許容 「自分の間違いを認め、責任を押し付けずに協力して練習する」なども可。

採点の目安 初めの責任転嫁5点、自分の目印の誤りへの気づき5点、謝罪・誤りを認めること5点、相談して改善する姿勢5点。共通の字数基準を適用。